

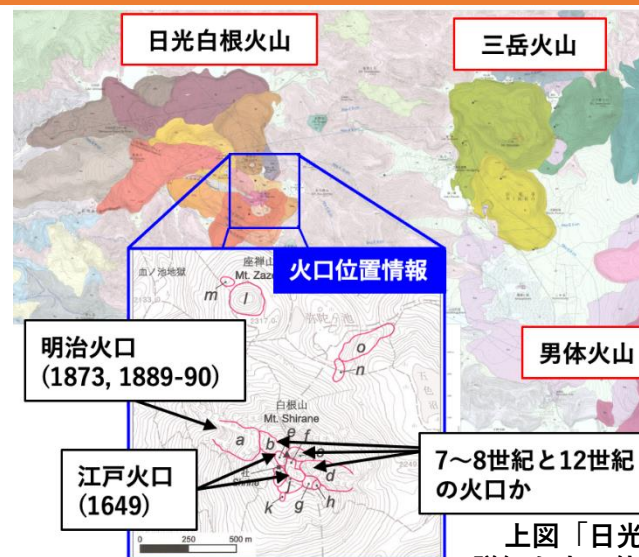
【対策】111 防災計画に資する火山情報の解析・評価、集約・情報提供対策

対策概要：災害に強い都市計画作り、防災計画策定に貢献するため、過去の火山噴火の履歴・活動推移・規模を解析・評価し、その結果のデータベース化、情報提供を行う。

府省庁名：経済産業省

【事例】日光白根及び三岳火山地質図の整備

- 実施主体：国立研究開発法人産業技術総合研究所
- 実施場所：栃木県日光市及び群馬県利根郡片品村周辺
- 事業概要：噴火発生時により効率的な避難行動や対策を取れるように過去災害の調査が必要であり、日光白根火山の火口位置及び噴火履歴を調査した。調査結果として、15個以上の火口が活動したことを把握した。
- 事業費：1.12億円
- 効果：過去に噴火が発生した火口の位置と、その噴火様式の詳細を明らかにしたことで、今後発生する可能性のある**災害の種類や影響範囲**（居住区域への降灰、下流域での泥流の発生等）の**数値予測が精密化し**、減災に役立つことが期待される。
また、地元自治体による火山防災協議会では、調査結果に基づき、**防災計画の見直し**を実施中である。



上図「日光白根及び三岳火山地質図」と詳細な火口位置の解析図（2022年9月出版）



火山防災協議会の現地合同調査

産総研研究者

左図：山頂にて日光白根山の火山活動を説明

参加者：約30名

（県、市、村、警察、消防、森林管理署、観光協会）